

郷土作家展

ひとし

日本美術院同人 清原 齊 展

2013.11.2(土)~17(日) am9:00~pm5:00

入場:無料 会場:龍ヶ崎市歴史民俗資料館 休館日:5(火), 11(月)



宵 日本美術院賞大観賞受賞

紙本着色 230×195 cm 1955年 茨城県近代美術館所蔵



版画「十五夜お月さん」 個人蔵



三人社展を開催した時の記念写真

左から清原齊、北原白秋、岡本一平
『童話一竹さん』昭和5年草文社刊行より抜粋

○清原齊について

明治29年(1896)稲敷郡長戸村塗戸(現龍ヶ崎市塗戸町)に生まれ、松本楓湖に師事して日本画の道に入りました。その後、今村紫紅や速水御舟などの指導を受け、後に堅山南風の門下となりました。一方で文章や詩を北原白秋などに学び、白秋主宰「多磨」歌誌会員となり作歌、随筆を発表し、短歌誌「香蘭」には設立時から同人として活動しています。さらに挿絵や童画も描くなど多彩な制作活動と幅広い交流をしています。

主に院展を舞台に活躍し、昭和29年(1954)から3年連続して日本美術院賞・大観賞を受賞し、念願だった院展同人となった11日後の昭和31年に59歳で亡くなります。院展の同人になることは自由に自分の絵を描くための手段にすぎず、本来、描きたかった世界は、その先にあったのだといわれています。

今回は第40回大観賞を受賞した「宵」をメインに、身近な温かみのある視点で描いた俳画や幼き日々の姿を想起こす童画を中心に、版画や絵本を交えた約50点を展示します。ぜひ、ご来場ください。